

グローバル・スタートアップ・キャンパス構想における成果の 地域波及について

イノベーション創出による経済成長の起爆剤として、また、多様化する地域課題の解決の担い手として、スタートアップに対する期待は大きく、全国の地方都市が各地域における産業の集積や地域の中核となる大学との産学官連携などを活かした独自のスタートアップ振興に力を入れている。国においても、世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成を目指すため、グローバル拠点4都市および推進拠点4都市が選定され、各種支援施策が展開されてきた。

こうした中、国の「スタートアップ育成5か年計画」では、ディープテック分野に特化した国際共同研究・開発や国際標準のインキュベーション機能を目指すグローバル・スタートアップ・キャンパス構想が掲げられた。この構想の実現に向けて、2028年に東京都心（目黒・渋谷）に設置するフラッグシップ拠点の整備や研究開発案件の先行研究などの準備が国において進められている。また、このフラッグシップ拠点が、地域スタートアップ・エコシステムとも連携することで、世界標準のビジネスを日本全体で生み出していくエコシステムの形成を促進することとしている。

国においてはデジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき、東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく取組が進められている。我が国が今後も持続的に発展していくためには、地域においても、イノベーションを創出し、その活力の向上を図ることが必要である。イノベーションの源泉となるスタートアップはもとより、その支援者であるアクセラレーターやベンチャーキャピタルなどが東京に集中していることを鑑みるに、日本全体のスタートアップ・エコシステムの強化、すなわちグローバル・スタートアップ・キャンパス構想の成果が全国各地域のスタートアップ・エコシステムにも広く波及し、それぞれのイノベーション促進やスタートアップ創出に繋がる好循環を生み出していく必要がある。

については、グローバル・スタートアップ・キャンパス構想の具体化にあたり、基本計画の策定段階から、地方との情報共有を図るとともに、東京都心のフラッグシップ拠点と、地域スタートアップ・エコシステムやそこで中核的に活動する支援機関との有機的連携、また、魅力ある地方大学の実現に向けた各地域の大学・研究機関との共同研究の強化など、日本全国が一体となったスタートアップ振興施策の展開を国に求める。

令和5年11月13日

全国知事会